

正副会長の活動状況

「弁理士知財支援ネット」を成功させよう

日本弁理士会副会長 竹内 耕三

17年度正副会長会の活動は、6ヵ月を過ぎ中盤に差し掛かり、成果を上げるべき重要な時期にあります。

本年度の事業目的の主要な柱のひとつとして、地域知財活性化運動があります。その推進の一環として**弁理士知財支援ネット**を17年9月20日に創設しました。弁理士知財支援ネットは、全国津々浦々に渡る、弁理士による知財支援のためのネットワークです。この弁理士知財支援ネットの成功のため、会員の皆様のご支援をお願いします。

1. 趣旨

我が国は、知財立国を目指しています。日本弁理士会はこの実現に寄与し社会的使命を果たすため「地域知財活性化運動」を標榜し、全国支部化、アクセスポイントの設置、ふるさと支援隊、商標キャラバン隊、弁理士情報の提供等の施策を進めています。

この運動の推進のために、

①全国各地の官民組織・ユーザーが、日本弁理士会に容易に連絡・相談でき、②地域ニーズにあった弁理士情報の提供をし、③その他各地域に密着した地域知財活性化運動の推進をすべく、「弁理士知財支援ネット」を創設しました。

2. 組織

弁理士知財支援ネットの組織は、**地域地財活性化運動統括本部**（本部長佐藤辰彦会長、副本部長谷義一総括副会長）の下に、各支部、各地区部会、関東運営WGを配置し、さらにその下部に、ネットの先端窓口として都道府県窓口責任者（以下「**地域窓口責任者**」と称します）を配置しました。

3. 地域窓口責任者

(1) 選任

機会均等のため公募し、応募頂いた会員の中から、選任基準に照らし候補者を選任し、趣旨説明して賛同を頂いた後、委嘱状を発行し地域窓口責任者を決定しました。現在各都道府県に1名ですが、順次追加し、原則として複数名とする所存です。

(2) 名称

正式名称を「日本弁理士会〇〇県窓口責任者」とし、総称を「日本弁理士会地域窓口責任者」と称します。

(3) 位置付け

地域窓口責任者は、弁理士知財支援ネットの先端窓口であり、いわば地域における日本弁理士会の顔です。

4. 指揮監督

統括本部長が、支部、地区部会及び関東運営WGを指揮し、支部、地区部会及び関東運営WGは地域窓口責任者を指揮監督します。

5. 活動指針

正副会長会が策定した地域知財活性化運動2005指針及び地域窓口責任者活動指針に基づき活動します。活動の方法についてさらに詳細に示すため、地域窓口責任者の活動に係るQ & Aを作成しています。

6. 活動内容

活動内容は、以下の通りです。

- (1) 官民組織ユーザーからの連絡・相談に対応
- (2) 地域ニーズにあった弁理士情報の提供
- (3) その他地域知財活性化運動

さらに、当面の活動として、地域窓口責任者は商標キャラバン隊の企画・運営の中心的役割を果たし、鋭意活躍中です。

7. 地域窓口責任者と業務受任

地域窓口責任者がその地位を利用して弁理士の仕事を受任しないように、受任の際のルールを設けました。

8. その他

弁護士知財ネットとの連携を図り、官民組織・ユーザーがワンストップで知財支援を受けやすい体制の構築に努めています。

重ねて弁理士知財支援ネットへのご支援の程宜しくお願い申し上げます。